

ネギ生産農家の要望に応える新農薬の防除効果確認試験 (ネギ黒腐菌核病)

ネギ黒腐菌核病は、秋～冬季に発生する土壌病害で、地際の葉鞘基部や根部を腐敗させ、病気が進行すると収穫が出来なくなり、農家経営に損害を与えます。しかし、本病に対する有効な薬剤が少ないため、ネギ生産農家からは使用できる農薬の追加が望まれています。そこで、当センターでは、新規薬剤の登録を目指し、防除効果の確認試験を実施しています。

今回の試験では、数種類の薬剤で高い防除効果が確認できており、来年度以降の登録が見込まれます。

今後も府内農家の要望に応える試験を行い、農家の経営を支援していきます。



黒腐菌核病が多発し、収穫できなくなった現地ほ場



新農薬の防除効果